

NUBIC 知的財産情報開示

開示日：2019年11月8日

各 位

NUBIC 知的財産情報の要約を公開いたします。

技術移転等を御希望の場合は、ホームページの「[NUBIC 技術シーズ案件申込](#)」フォームからお申込みください。各担当コーディネーターから御連絡申し上げます。

「[NUBIC 技術シーズ案件申込](#)」フォーム：

[TOP](#)>[共同・受託研究](#)>[申込書／契約書](#)>[本学研究シーズの利活用の申込み](#)>[WEB](#) から

出願番号 2019-025322

整理番号 12202

担当者 小野 洋一

表題	マグネシウム二次電池用の負極材、マグネシウム二次電池	
発明の概要・応用	<p>【課題】 ハロゲン化物イオンを含む電解液を使用しなくても、不動態皮膜の生成を抑制することができ、過電圧が低く、高効率でマグネシウムを電析させることができるマグネシウム二次電池用の負極材を提供する。</p> <p>【解決手段】 マグネシウム二次電池用の負極材 10 は、マグネシウムを含むマグネシウム材 11 と、マグネシウム材 11 の少なくとも一方の表面を被覆する被覆層 12 とを有し、被覆層 12 が、塩素、臭素およびヨウ素からなる群より選ばれる少なくとも 1 種のハロゲンと、マグネシウムとを表面に有する炭素質材料粒子 13 を含む。</p> <p style="text-align: right;">図 1</p>	
発明の特徴・効果	本発明によれば、ハロゲン化物イオンを含む電解液を使用しなくても、不動態皮膜の生成を抑制することができ、過電圧が低く、高効率でマグネシウムを電析させることができるマグネシウム二次電池用の負極材を提供することが可能となる。また、本発明によれば、ハロゲン化物イオンを含む電解液を使用しなくても、室温で、過電圧が低く、放電容量が大きく、かつ高電圧で高エネルギー密度の充放電が可能であるマグネシウム二次電池を提供することが可能となる。	
技術分野	金属・材料	